



令和4年11月11日

各位

会社名 日本基礎技術株式会社
代表者名 取締役社長 中原 巖
(コード番号 1914 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 事務管理本部長 尾崎 克哉
(TEL 03-5365-2500)

特別損失(個別)の計上および第2四半期累計期間の業績予想と 実績値との差異に関するお知らせ

当社は、令和5年3月期第2四半期累計期間の個別決算において特別損失を計上するとともに、令和4年5月13日に公表しました令和5年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(関係会社貸倒引当金繰入額)

第2四半期累計期間の個別決算において、連結子会社に対する関係会社貸倒引当金繰入額189百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 業績予想との差異

令和5年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の差異(令和4年4月1日~令和4年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり四 半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,500	百万円 150	百万円 250	百万円 50	円 銭 2.37
実績値(B)	11,363	251	498	284	13.48
増減額(B-A)	863	101	248	234	—
増減率(%)	8.2%	67.3%	99.2%	468.0%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和4年3月期第2四半期)	10,443	153	288	149	6.48

令和5年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の差異(令和4年4月1日~令和4年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,700	百万円 400	百万円 20	円 銭 0.95
実績値(B)	10,514	800	383	18.20
増減額(B-A)	814	400	363	—
増減率(%)	8.4%	100.0%	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和4年3月期第2四半期)	9,694	603	225	9.77

3. 差異理由

(第2四半期累計期間の個別業績)

個別業績につきましては、都市部での大型機械施工およびエネルギー関連工事、鉄道関連工事が堅調に推移した結果、前回予想から売上高 814 百万円の増加となりました。

利益面につきましては、売上高の増加や重機を中心とした大型機械施工による効率化により、経常利益が前回予想から 400 百万円の増加となりました。

四半期純利益は、特別損失に関係会社貸倒引当金繰入額 189 百万円を計上したものの、前回予想から 363 百万円の増加となりました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

(第2四半期累計期間の連結業績)

上記個別業績の差異および、米国現地法人において、追加工事の受注があったこと等により、営業損益が前回予想を上回ったため、グループ全体としては、前回予想から売上高は 863 百万円、営業利益で 101 百万円、経常利益で 248 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で 234 百万円それぞれ増加しました。

4. 通期業績予想

令和5年3月期の通期業績予想につきましては、令和4年5月13日に公表しております予想数値から変更はありません。

以 上